ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区　田原 聖子通信

No.020　2026年10月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

「政治とカネ」に無反省な第2次高市政権

国民の声で政治を変えよう

―あなたの声を聞かせてください街頭アンケート



宮本徹元衆院議員（左）とともにシールアンケート ＝９月 25 日、JR 王子駅

第２次高市内閣が発足しました。大軍拡をはじめとする悪政を繰り返してきた主要閣僚を留任させ、裏金事件で処分を受けた人物を入閣させるなど、これまで以上に悪政への暴走を加速させる布陣です。

今の政治を、住民のみなさんはどう思っているのか。街に飛び出し、宮本徹元衆院議員とともに、シールアンケートに取り組みました。

理工学部で学び、給付型奨学金を借りているという大学２年の女性は、「学費値下げ」にシールを。「日本共産党は中間所得層への政策が目立たないのでは」という疑問に、宮本さんが、「1% の富裕層の富を 99% のために使うという政策で、財源も示して将来的に見ても責任ある政策を出していますよ」と答えると、「次はぜひ国会に行って下さいね」とニッコリ。

高校１年生の3人組は、「憲法」、「ジェンダー」など迷った末に「学費」にシール。「大学卒業後まで響くよね」、と水を向けると、「そう、奨学金を借りたら返すのも大変だから」と。若者にとって、学費の負担は深刻です。

高齢の女性は「もう。全部だよ」と「憲法」、「消費税減税」、「医療・介護の充実」などにシールをはり、ため息。「物価高の影響はどうですか」と声をかけると、今度は怒りをこめて「嫌になるね、自民党は。あきらめたらいけないけど」と語気を強めました。

３月から、毎週金曜日の夕方に区内各地の駅頭で声をうかがっていますが、深刻な物価高騰の下で、「生活が苦しい」と答える人が増えています。

政治とカネに無反省な高市政権に、国民の暮らしをまかせるわけにはいきません。「あなたの声」を力に、政治を変えるためにがんばります。

心のモヤモヤ
シェアしませんか？

親子カフェ



● 10 月 18 日（日）
● 11 月 15 日（日）

いずれも14～17時
Tokyo12Hausにて

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに、
尊厳が尊重される社会をめざして

高校2年に進級した結ちゃん。学校で体操着にお着替えする時は、女性の先生とカーテンの中に隠れます。先生が、結ちゃんの体に起きている変化（二次性徴）を認識して胸にあてる下着を着用させようと頑張ってくれているのです。けれど、スポーツウエアのフィット感がお気に入りの結ちゃんは、下着を着けるのを嫌がります。母親が何度もお店に足を運んで購入しますが、どの下着でもうまくいきません。

2学期が始まる９月、種類と色を変えて先生と挑戦。「学校にいる時だけ着てみようね」といってスタートし、今では、朝、パジャマからお着替えするときから下着を着けられるようになりました。

日曜日には、お掃除をしてからパパの運転でお買い物に行き、ラーメンとジュースとピザをかごに入れて、パパがお金を支払って帰宅。続いて、Suica を首から下げてバスに乗り、うどんを食べに行くのですが、最近の結ちゃんは、「パパも連れてってあげるね」と、ステップアップしているのでした。



「ノンタンといっしょ」楽しいパズル

ご相談はお気軽に

- 生活：携帯代が払えない。家賃が高い。食費を削っている。
- 家族：家族やパートナーとの関係がつらい。子育てがつらい。
- 仕事：親の介護で働き続けられない。病気になった。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党・田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 5939-6581 FAX 5939-6582
mail: kitachikutou@gmail.com